

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	36884
事業名	私立保育所整備等補助金					
評価担当課	所属名	子)子育て支援 保育推進課				
	課長名	西山 謙一	担当者名	赤川 知也	電話番号	011-211-2346
施策名	主	子ども・若者を社会全体で育成・支援する環境づくり				
	副					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	● 対象 ○ 対象外		
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費					
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理					
事業内容	実施形態	○ 直営 ○ 一部委託 ○ 全部委託 ● 補助助成 ○ その他				
	目的	短期	認可保育施設等の利用定員数 H31.4.1:31,147人⇒R5.4.1:38,050人			
		長期	保育のニーズ量に対して必要な供給量を確保し、待機児童の解消を図る。			
	取組内容	【目的】増加する保育需要への対応及び老朽化した施設の改善 【内容】私立認可保育所の整備に対する補助 ①新築費補助金《2件180人定員増》②分園新築補助金《1件29人定員増》 ③増改築費補助金《2件60人定員増》④賃貸物件による創設《13件790人定員増》				
	実施結果	令和3年度整備分による定員増640人 【内訳】 ①私立保育所新築《4件300人定員増》 ②賃貸物件による保育所の創設《7件340人定員増》				
事業実施における工夫点	整備事業者の募集にあたっては、ホームページ等により広く情報発信を行っている。また、保育ニーズの高い地域(小学校区別)において保育施設の整備が行われるよう、A～Cの3段階で示す「必要度」を設定して募集を行っている。					
対象者	認可保育所等を運営しており、認可要綱の基準を満たす法人	開始	平成27年度	終了	0年度	
関連法令・条・要綱等	児童福祉法、子ども・子育て支援法、札幌市児童福祉法施行条例、保育所等整備交付金交付要綱、保育対策総合支援事業費補助金交付要綱、札幌市保育施設等整備費補助金交付要綱					
他都市の状況	「さっぽろ子ども未来プラン」の需給計画は子ども・子育て支援法の規定により策定する「子ども・子育て支援事業計画」として位置づけられており、全国一律の制度である。					

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	706,343	1,404,000	839,534	776,000	
うち特定財源	659,859	1,327,874	760,323	724,963	
人工	1.6	1.6	1.6	2.5	
人件費	11,520	11,520	11,520	18,000	
計(事業費+人件費)	717,863	1,415,520	851,054	794,000	
事業費の内訳	令和3年度決算	①保育所新築:4件 計661,862千円 ②保育所賃貸:7件 計162,000千円 ③その他:計15,672千円 ※合計839,534千円			
	令和4年度予算	①保育所増改築:1件 計268,767千円 ②保育所新築:2件 計291,233千円 ③保育所賃貸:9件 計216,000千円 ※合計776,000千円			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	認可保育施設の利用定員			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	34,218	36,196	35,610	36,469	
活動指標2	指標名	認可保育所整備による保育定員の増			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	890	1,059	640	510	
成果指標1	指標名	待機児童数(厚生労働省への報告数、翌年4/1)			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
	0	0	0	0	
成果指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	B	活動指標2(認可保育所整備による保育定員の増)については「1,059人」を下回る実績「640人」となったが、成果指標1については「待機児童0人」を達成した。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	国が定める補助要綱等を基に、適切に対象事業者、対象経費、基準額を設定しているほか、「第4次さっぽろ子ども未来プラン第5章」の「教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業に関する需給計画」における保育需要を基に必要な経費を計上している。			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	社会福祉法人、学校法人、株式会社など幅広く整備事業者の募集を行っている。また、保育所の新築・分園新築・増改築・増築整備や、賃貸物件を活用した保育所の整備を行うなど、多様な整備手法を用いている。			
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	B	「事業の成果」にもあるとおり、成果指標(待機児童数0人)を達成したが、子育て家庭が子育てしやすい環境づくりの推進や、保育ニーズを踏まえて、引き続き私立保育所の整備を進めていく必要がある。			
市民参加の実施	<input checked="" type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応		<input checked="" type="checkbox"/> 回答 <input checked="" type="checkbox"/> 反映
今後の改善点	保育ニーズの変化や地域の状況をよりきめ細かく見極めながら、私立保育所の整備について検討していく必要がある。				
前回の評価	○ A ● B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	保育施設の新設にあたっては、地域ごとの保育ニーズを踏まえ募集地域を限定するなどの見直しを行い、より保育需要に応じた施設整備を行うようにした。		見直し効果額 (前年度)	0	千円
今回の評価	○ A ● B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	活動指標2(認可保育所整備による保育定員の増)について、予定していた「1,059人」を下回る実績「640人」となったが、成果指標1については、昨年度に引き続き「待機児童0人」を達成することができたため。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	● 改善 ○ 現状維持 ○ 休止・廃止 増加する保育ニーズに対応する供給量を確保するために、保育所の整備費を補助することで整備を促進するとともに、安全な保育環境を確保するため、老朽化した施設を更新して耐震性能を向上させる。また、保育所等の防犯対策を強化し、園児の安全性を確保する。			
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ その他		見直し効果額	0
		①保育所増改築:3件 計630,435千円 ②保育所新築:1件 計187,761千円 ③保育所賃貸:1件 計45,630千円 ④防犯対策(外構): 計9,019千円			